

保育闘争委員会ニュース 公的保育を守り拡充させよう

2010年
12月21日(火)
第18号

発行 = 東京自治労連保育闘争委員会 Tel.03-5940-7951 Fax.03-5940-7957 honbu@tokyo-jichiroren.org

12・18 全国一斉宣伝署名行動

新宿駅、108人で賑やかに314筆集約

全国一斉宣伝署名活動が提起された12月18日、東京の保育や福祉向上をめざして運動している「公的保育・福祉を守る東京実行委員会」（構成団体：東京保問協、福祉保育労東京地方本部、東京自治労連）は、午後1時30分から新宿駅で「新システムに反対し、保育をよくする統一宣伝行動」を行いました。宣伝行動には、全国保育団体連絡会、東京保育問題協議会、福祉保育労東京地方本部、東京自治労連など108名が参加し“東京のすべての子どもたちによりよい保育を！”“認可保育所の新設・増設で待機児童をなくそう”と国会請願署名・都議会請願署名への協力を訴えチラシを配布しました。

ハンドマイクを手に、新宿つくし保育園の保護者や民間・公立の保育士、全国保育団体連絡会、経営者、稲城の保育をよくする会を立ち上げた稲城市の人たちも積極的に街ゆく人々に、それぞれの立場から熱い思いを発言。

チラシを配り、署名をお願いする人たちも“新システムに反対し公的保育制度を守ろう”との熱い気持ちが募り、自然と体が進み、街ゆく人々の流れにぶつかりそうになりながら署名の協力を訴えていました。人の流れが多い中で、足を止め若者は「保育園、必要ですよ。」と言って快く署名をしてくれたり、「石原がだめなんだよ。ここを変えなきゃ！」と言って署名に応じてくれた男性もいました。

保護者が子どもを連れて家族での参加、着ぐるみを着たり、サンタの帽子やトナカイの衣装、エプロン姿などで楽しく、賑やかに行われた宣伝行動は1時間でしたが、国会請願署名314筆、都議会請願署名302筆を集めました。

足立・北千住駅、25人で233筆

全国一斉行動の提起を受け止めて、足立でも12月18日11時から12時30分まで北千住マルイ前で署名宣伝行動を行いました。

当日は、ピンクとグリーンの鮮やかなウィンドブレーカーで通行人の目をひき、横断幕やのぼり旗でさらにアピールして、子どもたちには風船と風車を準備して「お父さん、お母さんは署名のご協力を！」と訴えました。

「こども園」の情報は、だんだん浸透して来ているようで、自ら署名に協力してくれる人や保育園を守ろうという訴えに共感してくれる人が多いのを実感しました。また、保育士を目指しているという男子保育学生たち数人も快く署名に応じてくれて、さらに元気が出た宣伝行動になりました。

この日は、区職労委員長を先頭に25名の参加者で233筆の署名が集まりました。

世田谷・5駅で260筆

12月18日 全国の宣伝行動とあわせて世田谷区では、千歳烏山、上町、豪徳寺、尾山台、用賀の5駅で宣伝署名行動を行い、全体で260筆を集約しました。尾山台駅では1時間で111筆の署名が集まりました。この駅では、この間つながりができた民間の保育園からも参加があり 元気に宣伝行動ができました。

再開した公的保育を守る実行委員会で提出した陳情の審議が12月16日区議会委員会で行われました 地方分権の立場から不採択を表明した政党もあり、結果的に継続審議になりました

たが 議会に向けての運動の第一歩であり 引き続き区内の保育関係者との共同の運動を広げていきます 1月には私立保育園などにも呼びかけた学習会を開催します

文京・白山商店街で 70 筆

全国一斉の宣伝行動に合わせ、12月18日に文京区職労保育園分会では、白山の商店街で宣伝署名活動を行いました。土曜日のお昼ということもありたくさんの買い物客でにぎわう中、“公的保育を守ろう”と、風車をもちながら元気にビラ配りや署名を呼びかけていきました。ビラ配りには組合員のお子さんも参加して、一生懸命チラシをまき「こんな小さい子からチラシをもらったら、署名しないとね」と言って家族分を書いてくださる方もいました。1時間弱で70筆署名を集めました。

白山は学生が多いのですが、若い方がチラシを受け取ってくれたり、署名をしてくださったのが印象的でした。これから大人になり子育てをしていく人たち含め、広範な人たちにこの問題を伝えていかなければならない、と改めて感じました。

江東区職労、全園で父母会との共催学習会など取り組み進む

「子ども・子育て新システム」学習会をこれまで4回組合員向けに行ない、510人(75%)の組合員が参加しました。また、毎年行なっている「父母の会と共催の学習会」は、今年は「子ども・子育て新システム」について、11月中旬～12月にかけて全園で行ないました。それぞれの園でお迎えの時間に合わせて2回、3回とおこない、多い園では参加率60%を超え、平均で35%の参加がありました。参加者からは「知らないうちに大変なことが行われようとしていることがよくわかった」「頑張って署名を集めたい」「用紙をもっとください」などの声が寄せられ、保護者が届けてくれた署名は現在2300筆を超えています。

署名宣伝行動を10月～12月の土日、大型商業施設周辺で延べ6回行ない、計136人の参加で1880筆が集まりました。毎回風船を配りながら、元気よくやっていますが、クリスマスが近い12月12日にはサンタクロースの帽子をかぶり、450筆を集めました。

支部全体の行動以外に、園独自の署名行動も行なっています。それぞれの地域性により、団地住宅訪問や、駅頭・商店街での署名宣伝で、すでに33園中24園が終了。「うちの子も保育園でお世話になりました。保育園のために頑張ってください」と激励の声が寄せられています。

江東保育闘争委員会では、11月23日猿江公園で「なくそう待機児を！つくろう公立保育園を！なくすな公的保育制度！すべての子供によりよい保育を！11・23江東保育集会」を行ないました。各園でプラカードを準備しパレードを予定していたものの、残念ながら雨のため中止となりましたが、集会には220名の参加がありました。うたごえサークルの歌で始まり、保問協会長の連帯の挨拶があり、団結してシステムに反対していくことを確認しました。午後は「子どもの未来を語るつどい」が開催され、例年以上に保護者の参加が多く、職員を含め280人が、「子ども・子育て新システムってなあに？」～新しい制度は子どもと保育者を幸せにするか～の講演を熱心に聞いていました。

【傘下の組織や保育関係者に配信・配布してください。配信希望者は氏名と所属、「保育闘争委ニュース希望」と明記し、パソコンよりメールでお申し込みを。内容を圧縮した「携帯メールニュース」も希望者に配信中。職場委員さんなどにも広めてください。携帯からメールでお申し込みを。申し込みアドレスはニュースの冒頭のメールアドレス宛に】